



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

2009.10.7 (No.2564) 週報 No.13

第2560地区ガバナー／植木 康之
 会 長／菊池 涉
 会長エレクト／樺山 仁 (クラブ奉仕A)
 副 会 長／山田 富義 (クラブ奉仕B)
 幹 事／松永 一義
 S A A／成田 秀雄
 会 計／石月 良典

例会日／毎週水曜日 12:30～
 例会場及び事務局／
 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
 例会場／TEL 34-3311
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
 (〃はshiftを押しながら“へ”のキーを
 押してください)

■本日の出席会員数:55名中37名
 ■先々週出席率:86.54%

【ゲスト】

・地区職業奉仕委員長 柴野俊子 様

【ヴィジター】

台湾土城RCより

・ 洪 俊傑さん

・ 米山奨学生 ケオ・ヴェチュット 君

【先週のメイクアップ】

【10.1】 三条ローターアクトへ

・ 菊池 涉さん

【10.1】 三条東RCへ

・ 西山徳芳さん

【10.3】 米山奨学セミナーへ (柏崎)

・ 会田二郎さん



「ロータリーの未来は、
あなたの手の中に」

2009～2010年度国際ロータリーのテーマ

季節のお花 (ツブキ)



会長挨拶

菊池 涉 会長

あなたの手へ



ご挨拶申し上げます。

「袖ふれあうもタショウの縁」という言葉はご存じのことと思います。ではその場合の「タショウ」はどのような漢字がお分りになりますか？私の周りの辞書には「多生」とありました。広辞苑には「他生とも書く」とありました。しかし私に言わせれば「他生」が正しいのです。これはまた別の機会にお話しましょう。

仏教では輪廻転生を考えますから（本当は輪廻転生を超えるのが仏教ですが）、「ちょっとした関係も前世からの縁に依る」という意味でしょう。もっとも本来「縁」というのは、関係性をいうのであって、それ自体は存在しない（空）ものなのですが…。

先日、食事をしながら古女房の顔をなにげなく見ておりましたら、「袖ふれあうも…」、このことわざが急に思い浮かびました。世界中には（私と同じ時代を生きただけで）何万何億という女性がいるはずですが、その何万何億という女性の中で、全く偶然という言葉でしか表せられない偶然で彼女と知り合い、そして結婚しました。

20数年間全く違った環境の中で育った二人が、偶然とか、仏の思し召し（神の摂理）としか言いようのない「御縁」を賜って、今日まで苦楽を共にしてきました。これはやはり「他生の縁」があったのだろうとしか考えられない、とこんなふうに考えていました。

「あんたも婆さんになったねえ」
と私は箸を動かすのを止めてそう言いました。
するとすかさず彼女「あなたに言われたくないわ。
鏡見てごらんなさいよ」。

私の感慨を知らぬ彼女は怒ったように返事しました。
私は、あわてて、「縁」ということを仏教者らしく
話そうかと思ったが、彼女の顔を見ていたら、とり
つく島もなさそうなので止めておきました。アァ仏
の思し召しも時には間違いがあるのかと、不遜なこ
とを考えてしまいました。

次週、今日の挨拶が週報に載ったら、週報をそれ
となく彼女の見えるところに置いておくことにします。

幹事報告

松永一義 幹事

◎次週10月18日(日)は地区大会が行われます。
ご出席の方はよろしくお願い致します。
4クラブ大型バスで行きます。
AM7:30集合・出発です。

ニコニコBOX

本日の卓話柴野俊子様より、御礼の御車料をスマ
イルBOXにとしていただきました。

菊池 渉さん

もう十月です。昔は神無月^{かんなづき}といって神様が出雲に
集まって、おられないので、仏様の独壇場。私は忙
しいはずなのですが、ポチポチです。

松永一義さん

新事務局の手塚さん、末永いお仕事にしてください。
台風が心配です。

山田富義さん

先日の中国旅行で大勢の皆様にお世話になりました。
た。

柴野様、卓話ありがとうございます。

添さんお久しぶりです。

野崎喜一郎さん

トキめき新潟国体が終わりました。10年来の宿題
が完了した気持ちです。

石月良典さん

国体総合優勝おめでとうございます。

関係者皆様、お疲れ様でした。

都合により早退させていただきます。

近藤雄介さん

トキめき国体では初めて表彰式でのプレゼンター
をさせていただきました。

五十嵐晋三さん

久しぶりの例会です。

西川文夫さん

朝、夕めっきりと寒く成りました。皆様、健康に注
意してください。

佐野勝榮さん

卓話をいただく柴野様、台湾土壤RC^{どしろう こう}添さんを歓迎
します。

歸山 肇さん、 捧 賢一さん、 若槻八十彦さん、

小出子恵出さん、 樺山 仁さん、 会田二郎さん、

杉山幸英さん、 熊倉昌平さん、 五十嵐昭一さん、

高橋 司さん、 明田川賢一さん、 丸山行彦さん、

成田秀雄さん

柴野俊子様、卓話ご苦労様です。

楽しみに致しております。

小越憲泰さん

都合により早退します。

10月7日分 ￥28,000
今年度累計 ￥333,500

卓 話

「職業奉仕月間」



地区職業奉仕委員会

委員長 柴野 俊子 様
(新潟万代RC)

植木ガバナーの運営方針は「ロータリーの心と原点を大切に」「思いやりの心で友情を深める」です。

今年度、職業奉仕委員会は私、新潟万代RCの柴野俊子と新潟中央RC丸山常彦さん、柏崎中央RC吉田孝継さんの3人で運営してまいりますので、皆様のご協力を宜しくお願い致します。

職業奉仕を理解しやすくする為に、5つの項目に分けてみました。

1. 職業奉仕の重要性

職業奉仕がなぜ重要なのかといいますと、「ロータリーの綱領」(これはロータリーの憲法とも言われます)「ロータリーの目的は自分の職業を倫理的、道徳的に高いものにしていくために奉仕の理想を学び、実践し、それを世の中に広めていくことにある」といえます。ロータリーはそうした目的を持った職業奉仕団体であると考えられます。

従いまして「職業奉仕がなぜ重要なのか」ということは「それがロータリーの本質である」からです。

2. 四つのテスト

「四つのテスト」は1932年にロータリアンであるハーバート・J・テラーがシカゴに所在する会社の立直しに携わった時に考え出されたものです。

「言行はこれに照らしてから」

- 1) 真実かどうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるかどうか

ロータリーの「職業倫理」に関する考え方を明確に表す言葉として引用されている文章です。

3. 職業奉仕活動の具体的な活動として

職業奉仕が非常に理解しにくい、具体的な職業奉仕活動は何をして良いか分からないといわれるには多くの理由があると考えます。

- 1) 自らの職業的倫理観や道徳的水準を高めるという抽象的な考え方であり、他の具体的奉仕と比較して理解されにくい。

- 2) 自分の職業や専門職の中で実践しようとしても目に見える成果をすぐに実感することができない。

- 3) 職業奉仕はその根本においてまず自分の心の持ち方の問題であることからクラブ活動のなかで広がりを持ちにくいのでクラブとしての活動として取り上げ難い。

このようなことから職業奉仕が難しいと言われる理由としてあげられると思います。

職業奉仕をより身近なものとしていくためには1987年に出された「職業奉仕に関する声明」の中にあります。

- 1) あらゆる職業において最も高度の道徳的水準を守り推進すること。その中には、雇主、従業員、同僚への誠実、忠実さ、またこの人達や同業者、一般の人々、職業上の知己すべての公正な取扱いも含まれる。

[会員の事業所見学]

[職業奉仕に関するグループ討議]

- 2) 自己の職業またはロータリアンの携わる職業のみならず、あらゆる有用な職業の社会に対する価値を認めること。

[社会を支えている様々な職業の人々の努力を顕彰する]

- 3) 自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てること。

[青少年のための職業情報提供]

[職業技能訓練の機会の提供]

[障害者のための雇用機会の提供]

[高齢者のための雇用機会の提供]

などを具体的な活動としてあげることができます。

クラブとロータリアンの創意工夫によって職業奉仕活動の可能性は限りなくあるといっても過言ではありません。

4. 職業奉仕と相互扶助の精神

ロータリークラブの中で会員同士が相互扶助の精神に基づいてビジネス活動をする事ですが、これはロータリーの基本的な考え方がどのように変遷してきたか知る必要があります。批判もありましたので「ロータリアン間の取引関係」の中でわかりやすく要約してみますと、次の3点が協調されております。

- 1) ロータリアンは、他のロータリアンからロータリアンでない人よりも有利な取引条件を享受してはならないし、要求するようなことをしてはならない。

- 2) ロータリアンはロータリアンでない競争業者に対する義務としても、また職業奉仕の精神からしても、他のロータリアンに対して特別な特典を与えるようなことをしてはならない。
- 3) ロータリーの親睦を取引関係の特典や利益を得るための手段としてはならない。しかし、会員同士の相互取引に対する強い反省から生まれた以上のような考え方も21世紀に入ったロータリーとして少し変えていくことが必要とされロータリアン相互が職業的メリットを享受できるような新たな形を考え出していくことが必要なのではないかとされています。

※ロータリーの第3の職業奉仕に関する考え方と国際ロータリーの持っている地球規模のネットワークを活用することによって素晴らしい貢献ができる団体であると考えております。

5. 職業奉仕のあり方

「自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てること」という職業奉仕のより実面的な側面を重視することが必要になってきています。

今日の産業社会においては、様々な形の異業種交流が盛んに行われ、新しい価値を生み出し、人々の社会生活の改善や文化の向上に大きく貢献しております。夫々の地域社会を代表する異業種の集まりであるロータリーが大きな潜在的能力を持ちながら、そのような機会を全く活かさないとするならば、それは社会的な損失であるということもできるのではないかと思います。

職業奉仕の精神に悖らないような形で、ロータリアン相互が職業的に助け合い、新しい価値を生み出していくという観点から21世紀に相応しい職業奉仕の仕組みを考えていくことが今こそ必要なことであるように思います。

今日の世界的規模の様々な解決困難な課題に対してロータリーが「国際奉仕」や「世界社会奉仕」という博愛主義的な観点からのみならず、自らの職業を通じて積極的に関わっていくことが必要ではないのかと思います。

次週例会 10月21～22日 親睦旅行 於 松島の旅

次々週例会 10月28日

「米山月間」

地区米山奨学委員長 箕輪 光泰 様

